



探してみよう! 魚の形をした骨

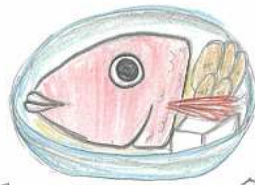
～身近な魚の中にもタイがいる??～

Please, find out me!

北区立田端小学校
第4学年

1. 調べた理由

私は、学校の食育の授業で「鯛のタイ」を探す授業を体験しました。実際に鯛を食べてみると胸びれのところに魚のような形の骨を発見することが出来ました。その骨を発見した時と、きれいに取れた時のうれしい気持ちは忘れられません。そして、同時に、他の魚にも、こんな形の骨があるのかな? この骨の役わりは何か? と考え調べてみることにしました。



Hello

2. 予想

他の魚にも胸びれがあるから、鯛と同じように魚のような形の骨はあると思う。でも、胸びれの大きさがちがうから骨の大きさもちがってくると思う。

3. 調べ方

- (1) 魚のような形の骨について調べる。(名称や役わり)
- (2) 食育の授業の時の骨は、洗っても時間が経つと黄色になってしまったので、骨を保存する方法を調べる。(右写真)
- (3) 身近な魚を対しょうに、なるべく多くの種類の魚をおいしく食べて骨を採取する。
- (4) 採取した骨を種類や大きさで比べてみる。

食育の授業の時の骨



4. 結果

(1) 骨の名称や役わりについて

魚のような形の骨は、胸びれとエラの間にある骨で、「肩甲骨」と「鳥口骨」がつながった状態のもの。主に、胸びれを動かす時に使う役わりをもつ。(下図参照)



(2) 骨の保存方法について

変色させずに保存する方法は、歯ブラシなどを使っていねいに洗った後、十分かわかして、マニキュアのトップコートをうすくぬってかわかすといいそうです。

鯛のタイがいる場所



(3) 骨の採取と保存

祖父母が住む富山に行った事もあり予想よりも多くの魚たちと出会うことが出来ました。実際に採取出来た骨を上記の方法を用いて保存しました。

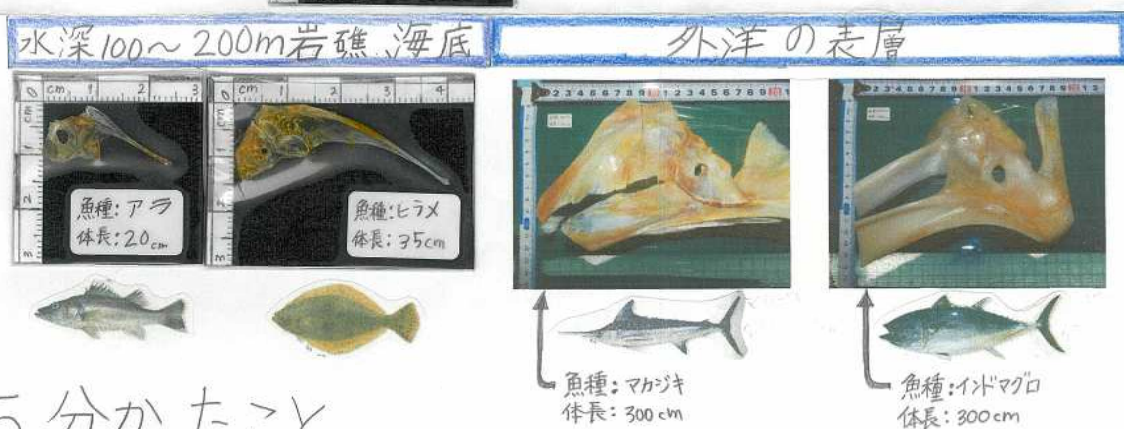
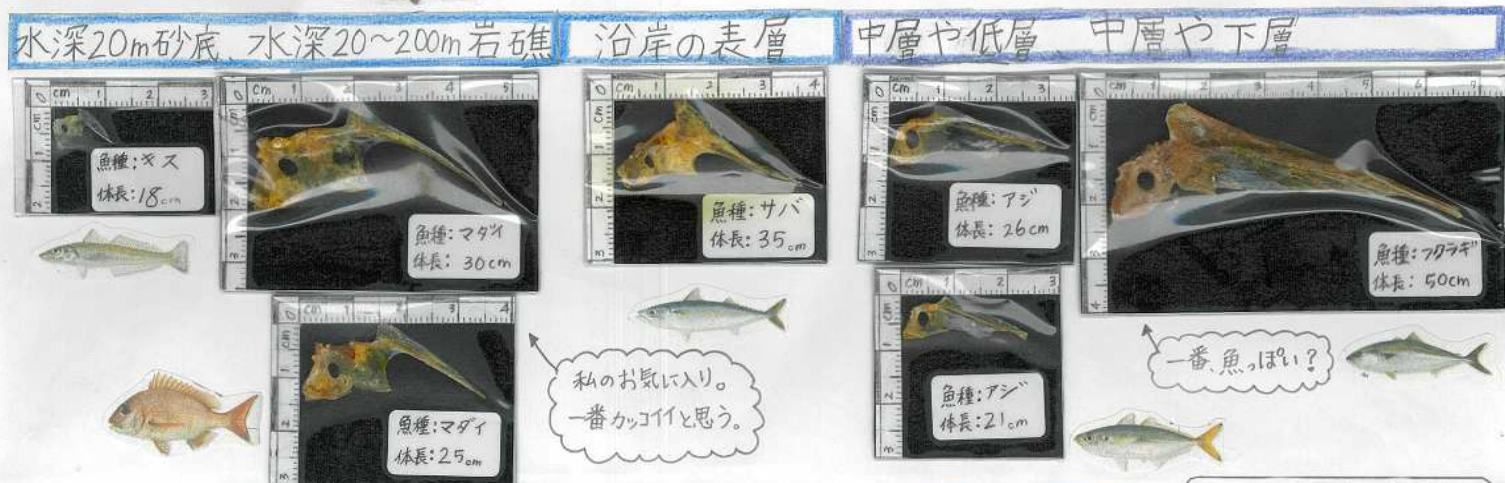
鯛のタイの仕組み図



保存に必要なもの

- 魚(お店や釣りをして用意する)
- 歯ブラシ
- マニキュア(トップコート)
- ピンセット
- 骨の大きさが分かる台紙
- タグ用シール
- 保護シール

(4) 採取した骨 (□ □ ... 生息地)



参考文献

- 小学館の図鑑NEO POCKET「魚」 / 小学館 2010年発行
- 食べて始まる食卓のホネ探検・盛り満 / 少年写真新聞社 2014年発行
- 科学であそぼう2 骨ははたらきもの・八杉貞雄、矢崎芳則 / 岩波書店 1996年発行
- 釣りタイバラ <https://gaiamutan.com/general-tai-no-tai-20201007/>

5. 分かったこと

「鯛のタイ」の一部は人の体にもある肩甲骨だということが分かりました。また色々な魚の骨の採取をしたら形は様々だけど、皆に「鯛のタイ」がありました。研究していると川魚と海魚では胸びれの位置がちがう事に気がきました。川魚や川と海を行き来する魚達は胸びれが体の下の方にあり、骨の形は立体的でした。海魚は胸びれが体の中央辺りにあり骨の形はほぼ平面でした。また、マグロなどの大きな魚は、他の骨と違って「鯛のタイ」だけの採取は出来ませんでした。

6. 感想

人の体にも肩甲骨があり、腕を動かす時に必要な骨です。魚の胸びれも「魚の手」と考えたら人も魚も同じ名称の骨は同じ役割なのかも知れないと思いました。今回色々な魚の中でもマカジキとインドマグロの骨の採取が一番大変でした。大きい魚は長い間生きてるからなのか骨に匂いと油がしみ込んでいてとれただけ洗っても取れませんでした。次に調べる時は匂いを取り除く方法を合わせて調べたいと思います

